

「Y-PORT 事業」における海外都市との協力関係構築 都市づくりに関する技術協力について フィリピン共和国セブ市との覚書を締結しました。

フィリピン共和国セブ市（市長 マイケル・ラマ氏）と横浜市（市長 林 文子）は、セブ市における環境に配慮した持続可能な都市づくりを目指して、相互に協力するための覚書を締結しました。

覚書締結式

日 時：3月28日(水) 14:00～14:30
会 場：横浜市役所 2階応接室(横浜市中区港町1-1)
出 席 者：横浜市長 林 文子
セブ市長 マイケル・ラマ (Michael Lopez Rama) 氏
ほかフィリピン共和国セブ市代表团
国際協力機構 (JICA) 東南アジア・大洋州部



※画像をご希望の方はご連絡ください。

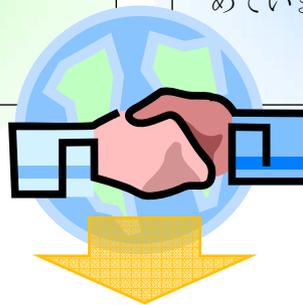
主な協定内容

セブ市の現状

◇セブ市は、急速な都市化とそれに伴う人口増加により、都市開発、交通、廃棄物処理、環境保護、下水処理、洪水対策の分野での課題を抱えており、住みよく持続可能な都市の発展に向けて、都市課題の解決が必要となっています。

横浜市の取組

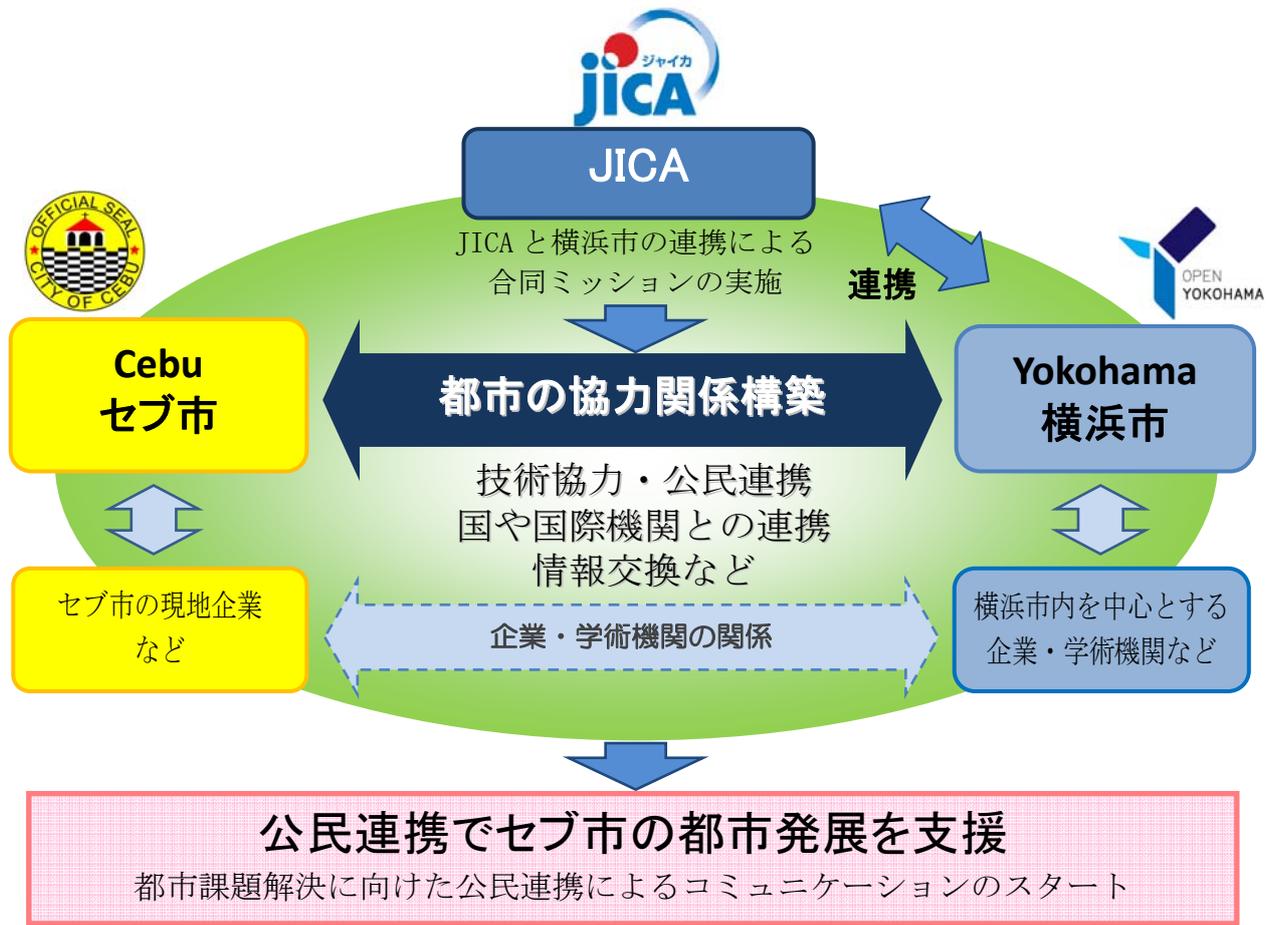
◇横浜市は、これまで急速な都市化に伴う人口集中によるインフラ整備の遅れや環境問題など、様々な都市課題を克服してきました。こういった横浜の技術・ノウハウを活用して公民連携による国際技術協力「Y-PORT 事業」を進めています。



協定内容

- (1) 横浜市は、セブ市のエコシティ開発の推進における技術的な助言を行う。
- (2) 両市は、民間及び学術機関の参加を働きかける。
- (3) 両市は、両国政府及び国際機関等の協力を得るための活動を行う。
- (4) 両市は、上記の連携を効果的に行ううえで不可欠となる情報を相互に提供する。

■ セブ市との覚書に基づく取組のイメージ



■ セブ市について

○所在地

フィリピン国セブ州セブ市（セブ州の州都）
（北緯10度17分、東経123度54分）

○人口【出典：2007年人口統計（フィリピン国家統計局）】

セブ市：799,762人（2007年）

○市長

マイケル・ラマ（Michael Lopez Rama）氏



セブ市庁舎



マゼランクロス



フィリピン共和国地図

マニラ市

セブ市

お問い合わせ先

政策局 共創推進室 国際技術協力課 担当課長 奥野修平

Tel 045-671-4393

(e-mail : ss-yport@city.yokohama.jp)